

きんきゅう
緊急

きゅう びょうき じ こ
(急な病気や事故)

さいがい
災害

たいふう じしん
(台風や地震)

1

きんきゅう
緊急 (急な病気や事故)

1-1 病気やけがのとき、火事のとき、**119**に
でんわ
電話をかける

きゅう びょうき
急な病気やけがのときは？



- 「救急です」と言います。
- 救急車<=急な病気の人やけがをした人を病院に運ぶ車>に、
来てもらいたい場所を言います。
- どこが痛いか言います。
- あなたの名前、電話番号を言います。



きゅうきゅうしゃ よ かた
救急車の呼び方

<https://www.fdma.go.jp/publication/portal/post1.html>



かじ
火事のときは？

- 「火事です」と言います。
- 火事の場所を言います。
- あなたの名前、電話番号を言います。



1-2 事件や事故のとき、**110**に電話をかける

事故のときは？

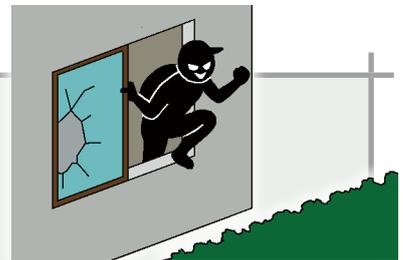


- 「事故です」と言います。
- いつ、どこで、何があったかを言います。
- あなたの名前、電話番号などを言います。
- けがをしている人がいたら、その人について説明します。
男の人か女の人か、何歳ぐらいか、どんなけがか、言います。



どろぼうなどのときは？

- 「事件です」と言います。
- いつ、どこで、何があったかを言います。
- あなたの名前、電話番号などを言います。
- けがをしている人がいたら、その人について説明します。
男の人か女の人か、何歳ぐらいか、どんなけがか、言います。

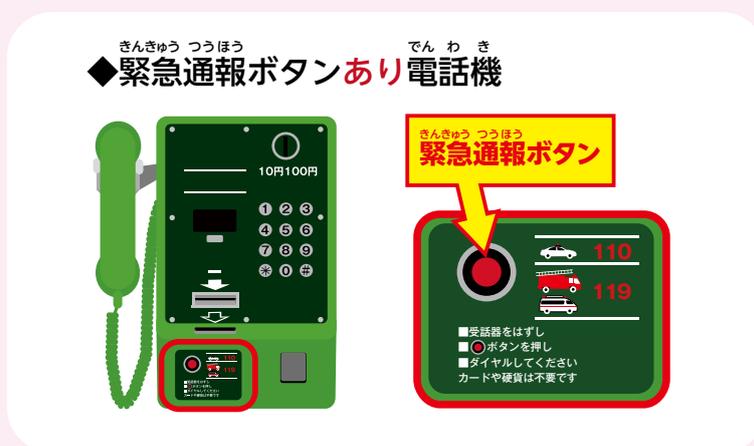


つぎ 次のようなときに、公衆電話から無料で電話をかけることができます。

- 事件や事故のとき…………… 110 (警察)
- 海での事件や事故のとき…………… 118 (海上保安)
- 病気やけが、火事のとき…………… 119 (消防)

● 緊急通報ボタン (赤いボタン) があるとき

受話器を上げて、緊急通報ボタンを押した後、110 などを押します。



● 緊急通報ボタンがないとき

受話器を上げて、そのまま 110 などを押します。



2

さいがい
災害 (台風や地震)

危険なときでも、けがをしたり困ったりしないようにします。

2-1 安全のために準備する



- 3日から1週間ぐらの食べ物や水、電池、懐中電灯を準備します。
- 非常持ち出し袋<=逃げるときに持って行く物を入れる袋>を準備します。
- どこが危険な場所か、どこに逃げたらいいか『ハザードマップ』で調べます。

ハザードマップは、災害が起こる危険がある場所や逃げる場所が書いてある地図です。家から逃げる場所まで行くときの安全な道を、確認しておくことが大切です。



<https://disaportal.gsi.go.jp/>

- 住んでいるまち(市、区、町、村)で『防災訓練・避難訓練』に参加します。災害が起きたときのために、安全に逃げる練習や、火を消す練習をします。安全や危険について勉強できます。
- 家の近くに住んでいる人に、「もし地震などがあつたときは、いろいろ教えてください」と言って、お願いしておきます。



2-2 情報を調べる



『Safety tips』



災害<=地震や大雨など>の情報がわかる

スマートフォンのアプリです。

- 無料で使えます。
- 災害がいつ来るか分かります。
- 災害のとき、どのようにすればいいか分かります。
- 熱中症<=あついときに外に出て、体調が悪くなること>の情報も見ることができます。

Android

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.rcsc.safetyTips.android>



iPhone

<https://itunes.apple.com/jp/app/safety-tips/id858357174?mt=8>



- 地震や大雨の情報を見ることができます。

<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>



2-3 安全な場所に逃げる



- 安全な場所がわからないとき、日本人に「どこに逃げたらいいですか」と質問します。

- いつ逃げたらいいかわからないとき、日本人に「逃げる時、教えてください」といいます。
- 両方の手を使うことができるように、リュックサックなどで必要な物を持って行きます。
- ガスやストーブの火を消して逃げます。

2-4 いろいろな災害のとき

1 台風・大雨

- 台風が来たら、強い風が吹いて危ないですから、外には出ません。
- 波が高くなったり川の水が増えて危ないですから、海や川の近くに行きません。
- 土や砂が崩れたら危ないですから、山やがけの近くに行きません。
- 洪水=>川の水が増えてあふれること>や土砂災害=>山やがけの土が崩れること>が起こることがあります。どこが危険か、どこへどうやって逃げたらいいかをハザードマップ **▶P.127** で調べます。洪水や土砂災害が起こる危険がある場所にいる場合は、安全な場所に逃げます。



洪水 (川の水が増えてあふれる)



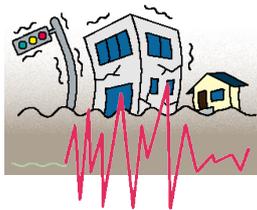
土砂災害 (山やがけが崩れる)



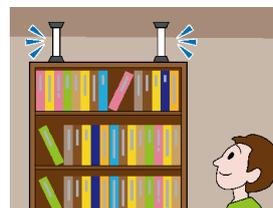
2

地震

地震が来る前



- 部屋にある棚やたんすが倒れないようにして、部屋の中を安全にします。



地震が起こったとき

▼ 家や建物の中にいるとき

- テーブルの下に入ります。上から物が落ちてきたり、棚が倒れたりして危ないです。



- 揺れが止まったら、ガスやストーブの火を消します。

- 地震でストーブが倒れて部屋の中で火事になったとき、もし自分で火を消すことができれば、消します。



- 外に逃げる前に、ブレーカーのスイッチを『切 (OFF)』にして電気を切ります。地震で電気が止まって、また電気が流れたときに、ストーブなどが自動でついて火事になることがあります。



▼ 外にいるとき

- かばんなどを頭の上に乗せて、物が落ちてきたときにけがをしないようにして、安全な場所に逃げます。ビルの近くは、割れたガラスや壁や看板が落ちてくるかもしれません。

- 地震のとき、電車やバスが止まることがあります。

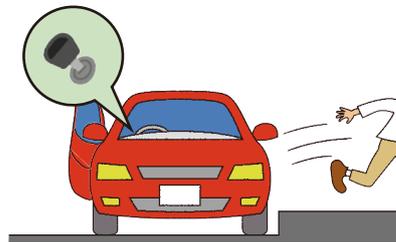
急いで帰らないで、安全な場所でしばらく待ちます。

たくさんの方が同じ時間に帰るので、駅や道がこんで危ないです。



▼ 車を運転しているとき

- ゆっくり道の左側に車を止めて、エンジンを止めます。
- ドアにかぎをかけないで、車にかぎをつけたままにして、外に逃げます。



▼ 海や川の近くにいるとき

- 海で大きな地震があったら、津波が来るかもしれません。海や川から遠くに離れて、高い場所に行きます。
- テレビやインターネット、**Safety tips** →P.128 で、津波 →P.132 の情報を調べます。わからないときは、日本人に「津波は大丈夫ですか」と質問します。

▼ 逃げる時

- 安全な場所がわからないときは、日本人に「どこに逃げたらいいですか」と質問します。
- がけの近くに行きません。がけが崩れるかもしれません。
- 津波の危険があるときは、海や川から遠くに離れて高い場所に逃げます。



地震のあと

- 火はつけません。ガス管が壊れて、部屋の中にガスが漏れているかもしれません。
- 風呂などに水をたくさん入れてためます。水道管が壊れて、水が出なくなることがあります。

3 つなみ 津波

うみ おお じしん つなみ く
海で大きな地震があったとき、津波が来ることがあります。

うみ ちか す ひと
海の近くに住んでいる人は、ハザードマップ →P.127 で
あんぜん ばしょ
安全な場所をチェックして、津波の情報の
しら かた れんしゅう
調べ方を練習しておきます。



うみ おお じしん 海で大きな地震があったとき

- うみ おお じしん
海で大きな地震があったとき、
うみ かわ とお はな
すぐ海や川から遠くに離れて、
たか ばしょ い
高い場所に行きます。
- テレビやインターネットで津波の
じょうほう しら
情報を調べます →P.128。
- わからないときは、日本人に「津波は大丈夫ですか」と
しつもん
質問します。
- つなみ きけん し
津波の危険を知らせる『注意報』『警報』が出たら、
たか ばしょ に
すぐ高い場所に逃げます。



つなみ きけん し ちゅういほう けいほう で
津波の危険を知らせる『注意報』『警報』が出たとき

▼ すぐ高い場所に逃げる

- 津波はとても大きな力があって、速いですから、津波が見えてから逃げても間に合いません。すぐ逃げます。
- 海や川から遠くの高い場所にすぐ逃げます。
- わからないときは、「どこに逃げたらいいですか」と日本人に質問します。

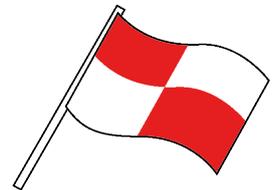


▼ 津波は1回だけではない

- 津波は何回も来ます。津波が終わったように見えても、海や川の近くには絶対に行きません。
- 『注意報』『警報』が出ている間は、安全な場所にいます。

つなみ
津波フラッグとは？

- 津波の『注意報』『警報』が出たことをお知らせする、赤と白の色の旗です。



海水浴場<=海で泳いだり、遊んだりできる所>などで使っています。

- 津波フラッグのことを詳しく知りたいときは、↓を見てください。

「津波フラッグ」について (日本語)

https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html



「津波フラッグ」について (英語)

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/en/tsunami/tsunami_flag.html



4 かざんふんか 火山噴火

やま のぼ まえ 山に登る前

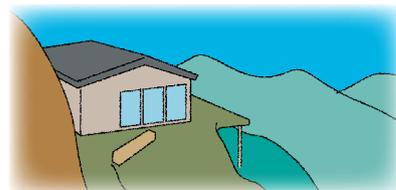
- **Safety tips** → P.128 で噴火の危険を知らせる噴火警報が出ているかどうか調べます。
- 『登山届』を書きます。名前や住所、山に登る予定などを書きます。事故のとき、役に立ちます。わからないときは、「登山届を書きたいです。教えてください」と言います。
- 火山が噴火したとき、頭にけがをしないようにヘルメットを準備します。



やま のぼ ふんか ふんか きけん たか 山に登っているときに噴火したとき・噴火の危険が高いとき

と 飛んでくる石などから自分を守るため、次のようにします。

- ヘルメットなどで頭を守ります。
- すぐ、火口<=噴火する所>から遠い所に行きます。
- 山小屋やシェルター、岩のかけなど、安全な所の中に逃げます。
- わからないときは、日本人に「どうしたらいいですか」と質問します。



噴火警戒レベルとは？

活火山<=噴火するかもしれない火山>の活動によって、どんなことに気を付けたらいいか、どんなことをしたらいいかについて、5つのレベルで分けています。

噴火警戒レベル

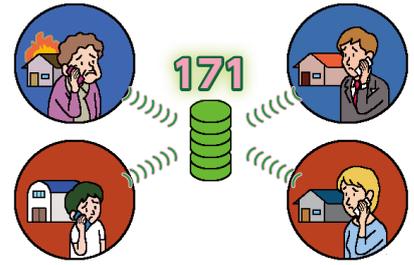
5	みんな、安全な場所に避難します。
4	お年寄りや子供、避難するのに時間がかかる人などは危険な場所から避難します。
3	山に登ってはいけません。
2	火口の近くへ行っははいけません。
1	その山が活火山であることを覚えておきます。



5 家族や友達に連絡したい

地震などで電話が繋がらないときは、
電話の会社のサービスを利用します。

わからないときは、日本人に
「伝言ダイヤルのかけ方を教えてください」と質問します。



災害用伝言ダイヤル (NTT)

171 に電話をかけて、メッセージを入れたり聞いたりすることができます。

NTT 東日本 : <https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>



NTT 西日本 : <https://www.ntt-west.co.jp/dengon/>



災害用伝言板 (web171)

パソコンやスマートフォンで、家や携帯電話の電話番号と文字のメッセージを入れて、あなたが今どうしているか伝えることができます。また、家族などがどうしているかも、文字のメッセージで見ることができます。

<https://www.web171.jp/web171app/topRedirect/>



NTT 東日本 : <http://www.ntt-east.co.jp/saigai/web171/>



NTT 西日本 : <https://www.ntt-west.co.jp/dengon/web171/>





さいがいようでんごんばん (さいがい たいふう じしん)
災害用伝言板 (けいたいでんわ)
 (携帯電話)

けいたいでんわ かいしゃ
 携帯電話の会社もメッセージのサービスがあります。

NTT ドコモ : <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>



KDDI (au) : <http://dengon.ezweb.ne.jp/>



ソフトバンク/
 ワイモバイル : <http://dengon.softbank.ne.jp/>



らくてん
 楽天モバイル : <https://public-safety.mobile.rakuten.co.jp/>



くわ
 詳しくは、↓^みを見てください。

NTT ドコモ : https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/disaster_board/index.html



KDDI (au) : <https://www.au.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon/>



ソフトバンク : <https://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/>



ワイモバイル : <https://www.ymobile.jp/service/dengon/>



らくてん
 楽天モバイル : <https://public-safety.mobile.rakuten.co.jp/info/public-safety/ja/service.html>



6 さいがいの 災害について 詳しい情報を調べたい

ぼうさいじょうほう 防災情報

さいがいの 災害について、いろいろな情報を調べることができます。

<https://www.jma.go.jp/jma/en/menu.html>



キキクル (きけんどうぶんぷ) 危険度分布

さいがいの 災害が起こる危険が地図でわかります。

▼ しんすい ひくところみず
浸水<=低い所に水がたまること>

https://www.jma.go.jp/bosai/en_risk/#elements:inund
(英語)



<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>
(いろいろなことば)



▼ こうずい かわみずふ 増えてあふれること>
洪水<=川の水が増えてあふれること>

https://www.jma.go.jp/bosai/en_risk/#elements:flood
(英語)



<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>
(いろいろなことば)



▼ どしゃさいがい やまがけがくず 崩れること>
土砂災害<=山やがけが崩れること>

https://www.jma.go.jp/bosai/en_risk/#elements:land
(英語)



<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>
(いろいろなことば)



緊急地震速報

強い地震が来る少し前に、テレビやスマートフォンでわかります。

Safety tips **→P.128** にも書いてあります。

▼ 地震と緊急地震速報についてのビデオ

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/sokuho_dvd/index.html

**噴火警戒レベル**

火山の情報がわかります。

[https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#5/34.5/137/
&contents=volcano&lang=en](https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#5/34.5/137/&contents=volcano&lang=en)



<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>



7

避難情報と警戒レベル

災害のとき、テレビなどでよく見たり、聞いたりすることばです。

避難情報

警戒レベル3よりも危険が高いときの情報で、避難<=安全な場所に行くこと>についての情報です。

警戒レベル

洪水や高潮<=台風などにより、海の水がいつもより高くなること>や土砂災害が起こりそうなとき、避難についての情報や天気の情報などを、災害が起こる危険のレベルで5つに分けたものです。

警戒レベル5
緊急安全確保

災害が起こっているか、今すぐに起きそうです。命を守ってください！

警戒レベル4までに必ず避難してください！

警戒レベル4
避難指示

みんな、危険な場所から安全な場所に避難します。

警戒レベル3
高齢者等避難

お年寄りや子供、避難するのに時間がかかる人などは危険な場所から避難します。

警戒レベル2
大雨注意報等

避難のタイミングや避難する場所などを再度確認します。

警戒レベル1
早期注意情報

雨や川の情報をテレビやインターネットで調べます。